

(国内)

科研費など、代表

1. 基盤 B「マングローブに迫る温暖化起因の枯死の脅威の実態解明」21H02236, 2021~2023, ¥12,090,000.
2. 基盤 C「雪が樹木の水利用を抑制するー多雪地森林の蒸散光合成の統合的理解と再現ー」、18K05748、2018~2020. ¥4,290,000.
3. 若手研究 B「光合成特性の解明を通じたカンボジアの森林蒸散の季節変動メカニズムの解明」25850108、2013~2014. ¥3,770,000.
4. 環境研究総合推進費「阿蘇を構成する植生の蒸発散の比較研究：草原の維持は水資源涵養に寄与するか?」、4RF-1301、2013~2014. ¥19,793,000.
5. JSPS 特別研究員(PD)奨励費「下層群落の生育が人工林のリターに及ぼす影響：モデル構築ー将来予測ー現状との比較」、2008~2010. ¥2,400,000.

同 分担

6. 基盤 C「大台ヶ原の森林衰退抑制を目指すための樹木 2 種およびササの水分生理学的挙動の解明」代表 木佐貫博光(三重大教授), 21K05668, 2021~2023, ¥4,160,000.
7. 基盤 B「アブラヤシ農園拡大の環境リスク評価」熊谷朝臣(東京大教授)、21H02229, 2021~2023, ¥17,420,000.
8. 基盤 B「縞枯れ現象を通して常緑針葉樹の衰退・枯死過程を解き明かす」種子田晴彦(東京大准教授)、21H02228, 2021~2023, ¥13,910,000.
9. 国際共同研究強化 B「侵略的外来植物がハワイ諸島の森林流域水源涵養機能を壊す」熊谷朝臣(東京大教授)、20KK0140, 2020~2022, ¥18,720,000.
10. 基盤 B「自然環境下のオゾン濃度の漸増が熱帯季節林の水利用効率に及ぼす影響の解析」清水貴範(森林総研)、20H03039, 2020~2023, ¥17,810,000.
11. 環境研究総合推進費 戦略的研究開発領域 (II)「阿蘇をモデル地域とした地域循環共生圏の構築と創造的復興に関する研究」島谷幸宏(九州大教授), 2019~2021.
12. 基盤 C「自然再生が必要な大台ヶ原の生残木に林床のササが及ぼす水分生理学的影響の解明」木佐貫博光(三重大教授)、18K05725、2018~2020. ¥4,290,000.
13. 二国間交流事業 共同研究「中国黄土高原半乾燥地における森林の水利用及び物質循環」山中典和 (鳥取大教授)、2014~2017. ¥4,500,000.
14. 基盤 C「機能的・構造的樹木モデルを利用した稚樹の生態の統合的理解」梅木清(千葉大准教授)、25450205, 2013~2015. ¥5,070,000.

(国外)、分担

15. Awarding Funding for PSW Request for Proposals “From leaf to watershed: How will climate change influence carbohydrate storage, water use and phenology in a tropical forest ecosystem?” 代表 Susan Cordell (Principal Research Ecologist, USDA Forest Service), USDA Forest Service, 2016. \$50,000.
16. Research Funding “Cloud Water Interception in Hawai‘i: Developing Capacity to Characterize the Spatial Patterns and Effects Water And Ecological Processes” 代表 Thomas W. Giambelluca (Professor, University of Hawai‘i at Mānoa), US Geological Survey, 2015-2017. \$426,457.
17. Awarding Funding for PSW Request for Proposals “Is drought performance of long-lived trees in the aseasonal tropics related to carbohydrate storage?” 代表 Susan Cordell (Principal Research Ecologist, USDA Forest Service), USDA Forest Service, 2015. \$75,000.
18. Climatic Science Center Grant “Assessing future drying on the native Hawaiian ecosystems” 代表 Rebecca Ostertag (Professor, University of Hawai‘i at Hilo), US Geological Survey, 2013~2015. \$224,254.
19. Climatic Science Center Grant “Understanding the response of native and no-native forests to climate variability and change to support resource management in Hawai‘i” 代表 Thomas W. Giambelluca (University of Hawai‘i at Mānoa), US Geological Survey, 2013~2015. \$236,983

#### 民間の研究助成、分担

20. 研究助成「気孔の微気象応答メカニズムの解明を通じた C3・C4 作物の水利用戦略の解明」杉浦大輔(名古屋大助教), 住友財団, 2020, ¥1,600,000.
21. 研究助成「大台ヶ原の自然再生を目指すためのトウヒの水分生理状態の解明」木佐貫博光(三重大教授), 第 28 期プロ・ナトゥーラ・ファンド助成、2017 年度, ¥1,000,000.
22. 研究助成「冷温帯林の光合成生産に及ぼす融雪遅延の影響の解明」石田清(弘前大准教授), 住友財団、2016~2017, ¥2,000,000.

#### 学外の研究機関の共同利用研究など

23. 共同研究(一般研究)「荒土高原に生きる在来樹種の水利用と乾燥への応答の解明」鳥取大学乾燥地研究センター2021, ¥235,000.
24. 共同利用・共同研究事業「塩水下のオヒルギの環境応答の解明とそのモデル再現」琉球大学熱帯生物圏研究センター、2019, ¥250,000
25. 共同研究(一般研究)「塩水下のオヒルギの環境応答の解明とそのモデル再現」鳥取大学乾燥地研究センター、2018, ¥208,000.
26. 共同利用・共同研究事業「塩水下のマングローブの吸水・炭素吸収とその変動の解明」琉球大学熱帯生物圏研究センター、2018, ¥210,000
27. 一般研究「ニセアカシアの蒸散特性と土壌乾燥への適応の解明」、鳥取大学乾燥地研究

センター、2013~2015, ¥519,000.

28. 若手奨励研究「降水量に沿ったニセアカシアの水利用の推移様式の解明」、鳥取大学乾燥地研究センター, 2011~2013、 ¥922,000.

#### Fellowship

29. 海外特別研究員 (日本学術振興会)「ゴムの拡大がインドシナの水文過程に及ぼす影響の解明：実測とモデルによる評価」2011~2013 (就職により辞退).
30. 組織的な若手研究者等海外派遣プログラム、九州大学農学研究院 (日本学術振興会)「外来種の侵入が生態系による炭素吸収と水資源利用に及ぼす影響の評価－個葉スケールの集中計測－」2011.
31. 優秀若手海外派遣事業 (日本学術振興会)「下層群落の生育が人工林のリターに及ぼす影響：モデル構築－将来予測－現状との比較」 2010.
32. JSPS 特別研究員(PD) (日本学術振興会)「下層群落の生育が人工林のリターに及ぼす影響：モデル構築－将来予測－現状との比較」 2008~2010.